

令和2年度 学校経営計画書

石川県立宝達高等学校

校長 笠間 清秀

1 教育目標

生徒一人一人の個性を伸張し、明るく活力のある学校を目指す。

- ①自主自律の精神を培い、社会で活躍できる人材を育成する。
- ②創造性を培い、広い視野をもつ人材を育成する。
- ③心の豊かさを涵養し、心身ともに健全な人材を育成する。

2 中・長期的目標

ふるさとに誇りを持って地域の発展に貢献できる人材を育成する。

(1) 学校の現状

- ①学習意欲を喚起し、主体的に学習に取り組む態度を育成するため、分かる授業づくりに取り組んでいる。
- ②生徒の多様な進路希望や学力差に対応するため、個に応じたきめ細かな学習指導に取り組んでいる。
- ③心身ともに健全な生徒を育成するため、基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、部活動の活性化や教育相談の充実に取り組んでいる。
- ④望ましい職業観・勤労観を身に付け、主体的に進路実現に努める生徒を育成するため、キャリア教育の充実に取り組んでいる。
- ⑤地域社会の活性化に主体的に参画できる人材を育成するため、地域と学校が連携・協働した取組の充実を図っている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①自ら学ぶ意欲と社会を生き抜く資質・能力を持った生徒を育成する。
- ②社会のルールやモラルを重んじながら、自律的で人を思いやる心豊かな生徒を育成する。
- ③望ましい勤労観・職業観を涵養し、主体的に自己の進路実現に取り組む生徒を育成する。
- ④地域への愛着や誇りを持ち、広い視野に立って社会に貢献する人材を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ①専門性を高める研修や社会的視野を拓げる取組を推進し、指導力や人間力の向上を図るための自己研鑽に取り組む。
- ②学力の三要素をバランスよく育むため、意図的・計画的な指導を行い、生徒一人一人の学力を高め、学力の質の確保に努める。
- ③学校のさまざまな課題に対応するため、チームとして協働する体制づくりを推進して組織的・機動的な学校経営に努める。
- ④効率的な業務の遂行に努め、生徒と向き合う時間の確保とワークライフバランスを考えた働き方に努める。

3 今年度の重点目標

- (1) 3年間を見通した学力向上の取組とキャリア教育の充実によって、生徒の進路実現100%を目指す。
- (2) 自主自律の精神を持った社会人としての資質・能力を身に付ける。
- (3) 宝達高生としての誇りや自己有用感を高めながら、人間性や社会性を磨く。
- (4) 地域との交流・連携を密にし、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。
- (5) 教職員は、ワークライフバランスやタイムマネジメントを意識しながら、組織的で効率的な働き方に努める。